

## 令和 3 年度歳出予算の流用の報告について

加東市地域公共交通活性化協議会財務規則第 5 条第 1 項の規定により歳出予算を流用したので、同条第 2 項の規定により報告する。

### 1 流用の内容

流用減		流用増	
款	事業費	款	運営費
項	事業費	項	事務費
目	事業費	目	事務費
節	委託料	節	需用費
流用金額	▲105,000 円	流用金額	105,000 円
流用後予算額	13,139,000 円	流用後予算額	191,000 円

### 2 流用の理由

市内一律運賃制度を周知するため、市内を運行する神姫バスの車内掲示用ポスターの作成に係る需用費（印刷製本費）が必要となった。また、社市街地乗合タクシーをより広く周知し、市民にとって身近で愛着の持てる公共交通機関とすることを目的に愛称を募集し、愛称の採用者に記念品を贈呈するため、需用費（消耗品費）が必要となったことから、流用を行った。

## 加東市地域公共交通活性化協議会財務規程

### (趣旨)

第1条 この規程は、加東市地域公共交通活性化協議会規約（以下「規約」という。）第15条の規定に基づき、加東市地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）の財務に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (予算)

第2条 協議会の予算は、加東市からの負担金、国からの補助金、繰越金及びその他の収入をもって歳入と、協議会の運営及び事業に係る経費をもって歳出とする。

2 協議会の会長（以下「会長」という。）は、毎会計年度予算を調製し、協議会に諮るものとする。

3 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終了する。

4 会長は、第2項の規定により、予算が協議会の承認を得たときは、当該予算書の写しを速やかに加東市長に送付しなければならない。

### (予算の補正)

第3条 会長は、会計年度の途中において、既定予算に補正の必要が生じたときは、これを調製し、速やかに協議会に諮るものとする。

2 前項の規定により、補正予算が協議会の承認を得たときは、前条第4項の規定を準用する。

### (予算区分)

第4条 歳入予算の款、項及び目の区分は、別表第1のとおりとする。

2 歳出予算の款、項及び目の区分は、別表第2のとおりとする。

3 当該年度において臨時かつ特別な理由があるときは、別表第1及び別表第2に定める以外の項及び目を定めることができる。

### (予算の流用及び予備費の充用)

第5条 歳出予算の流用及び予備費の充用は、加東市の例によるものとする。

2 会長は、前項の規定により歳出予算の流用又は予備費の充用をしたときは、直後の協議会に報告しなければならない。

### (出納及び現金等の保管)

第6条 協議会の出納は、事務局長が行う。

2 協議会に属する現金等は、銀行その他の金融機関に預け入れなければならない。

### (協議会出納員)

第7条 事務局長は、協議会の事務局職員のうちから協議会出納員を命ずることができる。

2 協議会出納員は、事務局長の命を受けて、協議会の出納その他会計事務をつかさどる。

(収入及び支出の手続)

第8条 協議会の予算に係る収入及び支出の手続は、加東市の例により行うものとする。

2 協議会出納員は、次の各号に定める簿冊を備え、出納の管理を行うものとする。

(1) 予算整理簿

(2) 前号に掲げるもののほか、必要な簿冊

(決算等)

第9条 会長は、毎会計年度終了後、遅滞なく、協議会の決算を調製し、協議会の承認を得るものとする。

2 会長は、前項の承認を得るに当たっては、規約第6条第4項の規定に定められた監査委員の監査を受け、その結果を添えなければならない。

3 会長は、第1項の規定により協議会の承認を得たときは、当該決算書の写しを速やかに加東市長に送付しなければならない。

(その他)

第10条 この規程に定めるもののほか、この規程の施行に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規程は、平成27年3月30日から施行する。

別表第1 (第4条関係)

歳入予算の款、項及び目の区分

款	項	目
1 負担金	1 負担金	1 負担金
2 補助金	1 補助金	1 補助金
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入

別表第2 (第4条関係)

歳出予算の款、項及び目の区分

款	項	目
1 運営費	1 会議費	1 会議費
	2 事務費	1 事務費
2 事業費	1 事業費	1 事業費
3 予備費	1 予備費	1 予備費